

# 「寛容な心で日中和解」

## 「対日新思考」の馬氏新著



馬立誠氏

乗り越え、民族主義を抑  
後も曲折があるかもしれ  
ないが、民間レベルでは  
既に明るい兆しが見え始  
めている」と指摘した。

昨年、日本政府による  
尖閣諸島国有化を受け、  
02年に「新思考」論文  
を発表した後、保守派の  
学者からは痛烈に批判さ  
れ、ネットユーザーから  
は売国奴とののしられ  
た。著書ではその時の経  
緯も振り返っている。

中国全土で反日デモが広  
がった。だが馬氏は日中  
双方で、知識人らがそれ  
ぞれ冷静さを取り戻そう  
との声明を発表したこと  
に注目。「両国関係は今

【北京共同】2002

年、中国で民族主義的な

反日感情を戒める「対日

新思考」を打ち出したこ

とで知られる共産党機関

紙、人民日報の元評論員、

馬立誠氏が日中関係を扱

った新著を26日までに香

港で出版した。沖縄県・

尖閣諸島（中国名・釣魚

島）をめぐる両国関係が

緊張する中、「寛容な心

で未来を展望せよ」と未

来志向の関係構築を訴え

ており、話題を呼びそう

だ。

新著は「憎しみに未来

はない」（香港中和出版）。

「新思考」では過去の戦

争への日本の謝罪問題は

解決済みと訴え、波紋を

広げた。新著でも新思考

に基づき「歴史の恨みを